

ハッピー&スマイル 33号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
Tel. (0246)32-6381



新春宝くじ

平成三十年一月一日(月)、毎年恒例の「新春宝くじ」が開催されました。皆さん、指折り数えて待っていました。皆利用者の皆さんは一階では中棟食堂へ、二階では西棟食堂に集まりました。施設長や宝くじを担当した職員の年頭のあいさつがありました。



「明けましておめでとうございます」
紅白幕も飾り、良い一年のスタートになりました！」

書初め大会

一月五・六日の二日間、ショートステイ恒例の書初めが行われました。



「力強い字や、丁寧な字...
それぞれ個性がありますね！」



いよいよよく引きが始まり番号が読み上げられます。今か今かと目を輝かせ、番号が呼ばれると、大きな声で「はい」と手を上げていました。何が入っているだろうと袋を触っている姿がとっても嬉しそうでした。今年も、笑顔がいっぱいの一年でありますように。

「当たったプレゼントを
大事に抱えて・・・」



利用者からは「懐かしいなあ〜」「書けるかなあ〜」等の声が聞かれましたが、いざ始めてみると昔を思い出してスムーズに筆を運んでいました。



豆まき

二月三日(土)、豆まきが行われました。楽寿荘で成年生まれの年男・年女は、九名おります。その利用者の方を中心に豆まきを行いました。鬼に扮した職員が各棟を回ります。

「中身は何でしょう！？
ワクワクしますね♪」



出来た作品を見ながら「曲がっちゃったよ〜」「小学校以来やってないからなあ〜」等と話がはずみましました。それぞれの個性が出ており、来年もまた楽しみですね。



「左にあるのはショートステイの利用者の皆さんが作った七福神の貼り絵です！
書初めも飾り、縁起がいいですね♪」

「鬼はー外！」「福はー内！」と大きな声をだしながら、落花生や甘納豆を投げました。やってきた鬼が、変装した顔見知りの職員だと気づくと利用者は大喜びです。終始和やかな雰囲気の中、鬼退治も終わり、楽寿荘に福が舞い込みました。

二月のレクリエーション

二月、二階ではレクリエーションでも鬼退治を行いました。天井から鬼のお面を吊るし、お面目がけて風船を投げます。



「鬼には負けないぞ！」

「鬼と仲良く、記念撮影♪」



「手を伸ばして...届きました！」

フワフワと飛ぶ風船は、なかなかお面に当たらず、悪戦苦闘の連続です。あきらめず、楽しみながら何度も挑戦していました。



居宅介護支援事業所紹介

こんにちは！ 私たちの事務所は楽寿荘の敷地の緑色の建物の丸い屋根の下にあります。

居宅介護支援事業所とは、介護や支援を受ける方、又は介護をするご家族が、住み慣れた地域で安心して、その方らしい生活が送れるよう支援する為、県より指定を受けた介護支援専門員(ケアマネージャー)がいる、専門的な相談窓口です。「要介護認定」の申請代行や居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成、介護方法、福祉用具についてのご提案や介護保険で受けられる居宅介護・支援サービスの紹介や調整・手続き等を行います。

介護保険に限らず何でも、お気軽にご相談ください。

楽寿会ホームページはこちらから



<http://www.rakujukai.com>

